



2024年8月19日

各位

会社名 株式会社アストロスケールホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡田 光信
(コード: 186A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役兼 CFO 松山 宜弘
(TEL. 03-3626-0085)

商業デブリ除去実証 (CRD2) フェーズII (ミッション名: ADRAS-J2) の 大型契約獲得に関するお知らせ

当社の日本連結子会社である株式会社アストロスケールが、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) との間で、商業デブリ除去実証 (CRD2) フェーズIIの大型契約を8月20日に締結いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。契約金額は12,000百万円(税抜)となります。本件は、当社グループ史上最大規模の受注であり、今後継続的なADRを展開するうえで重要なミッションと位置付けております。

1. 受注内容

受注先 : 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
プロジェクト名 : 商業デブリ除去実証 (CRD2) フェーズII
ミッション名 : ADRAS-J2
受注金額 : 12,000百万円(税抜)
契約期間 : 2029年3月末まで

本件は、2024年4月に契約相手方として選定されており、2024年8月18日に株式会社アストロスケールの取締役会にて契約締結に関する決議を行い、8月20日に契約締結いたします。

2. 商業デブリ除去実証 (CRD2)

CRD2は、JAXAの進めるデブリ除去プログラムを起点に新しい宇宙事業を開拓し、日本企業が新たな市場を獲得することを目的としたプロジェクトであり、軌道上にある日本由来のデブリであるロケット上段を対象に、二つのフェーズで大型デブリへの近傍接近と除去の実証実現を目指すものです。

フェーズIでは、商業デブリ除去実証衛星「ADRAS-J (Active Debris Removal by Astroscale-Japan)」を開発、2024年2月よりミッションを実施しており、非協力物体(※)であるデブリへの接近、近傍制御を行い、軌道上に長期間存在する情報の少ないデブリの運動や損傷・劣化がわかる画像データを取得しました。フェーズIIでは、フェーズIと同様にデブリへ接近、近傍制御し、さらなる画像データを取得するとともに、デブリ除去としてその捕獲や軌道離脱も行います。今後、捕獲機構であるロボットアームを含め、フェーズIIで運用する「ADRAS-J2 (Active Debris Removal by Astroscale-Japan2)」の開発を進めてまいります。

(※) 位置情報を発信せず自由運動(回転など)をして宇宙空間を飛翔している物体を指します。

3. 今後の見通し

本件は2024年4月に選定済の案件であり、収益に関する影響は、2025年4月期通期の連結業績予想(プロジェクト収益)に含めております。本件に関する収益は契約期間にわたって計上される予定です。

以上